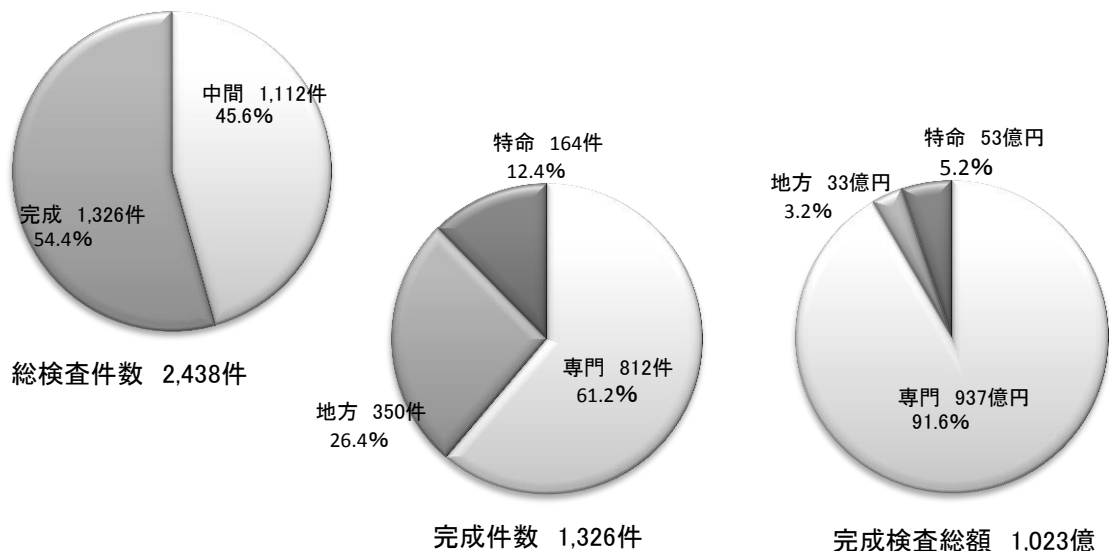


平成24年度の工事検査実績をとりまとめた結果は次のとおりです。
 データ集計期間は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までです。

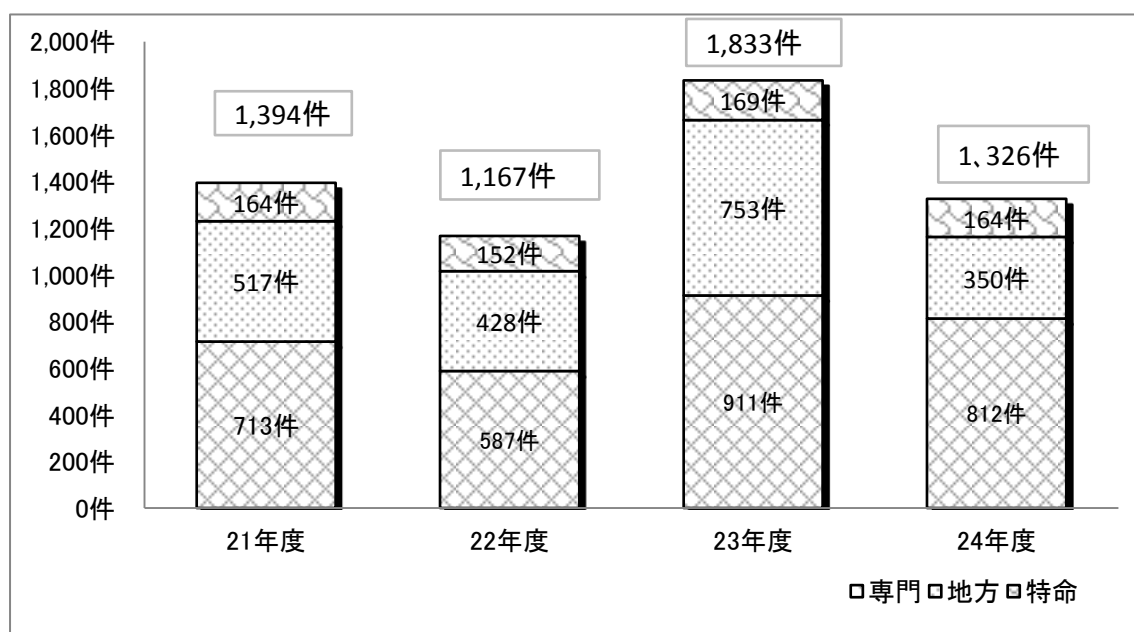
1 実績／全体

① 検査件数／完成／中間



◇平成24年度の総検査件数（専門・地方・特命検査員検査合計）は、2,438件でした。
 総検査件数に占める割合は、完成検査が約54%、中間検査が約46%となっています。
 また、完成検査件数に占める専門検査員検査は約50%、検査金額に占める割合は約92%となっています。

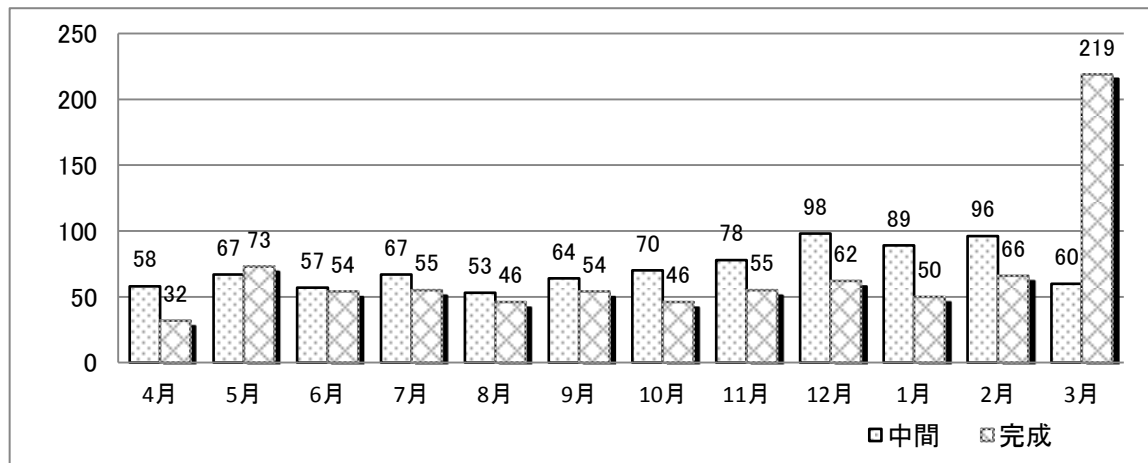
② 検査件数／完成／推移



◇完成検査の件数は専門・地方・特命の各検査全体で1,326件、前年度の約72%でした。
専門検査員は、検査課に所属し、主として契約額が2,000万円以上の発注工事を検査。
地方検査員は、県工事検査規定で定められた地方機関に配属され、契約額が2,000万円未満の当該機関発注工事を検査。
特命検査員は、主務課長又は所長に別に職員のうちから任命され、県工事検査執行要領の範囲内の工事を検査。

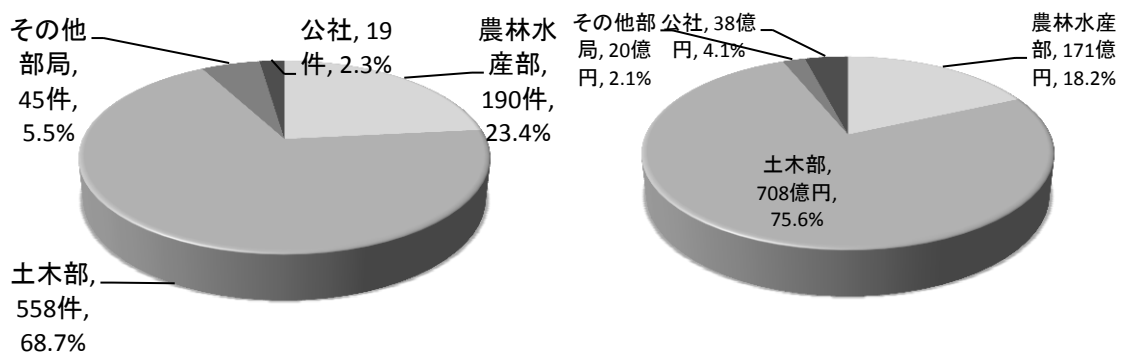
2 実績／専門検査員

① 検査件数／月別



◇完成検査件数は、4月に若干落ちてはいるが2月まではほぼ平準的に推移し3月（年度末）に突出し多くなっています。
 中間検査件数は、12月から2月にやや多い傾向にあるが全体的に横ばいで推移しています。

② 検査件数／完成／金額／部局別

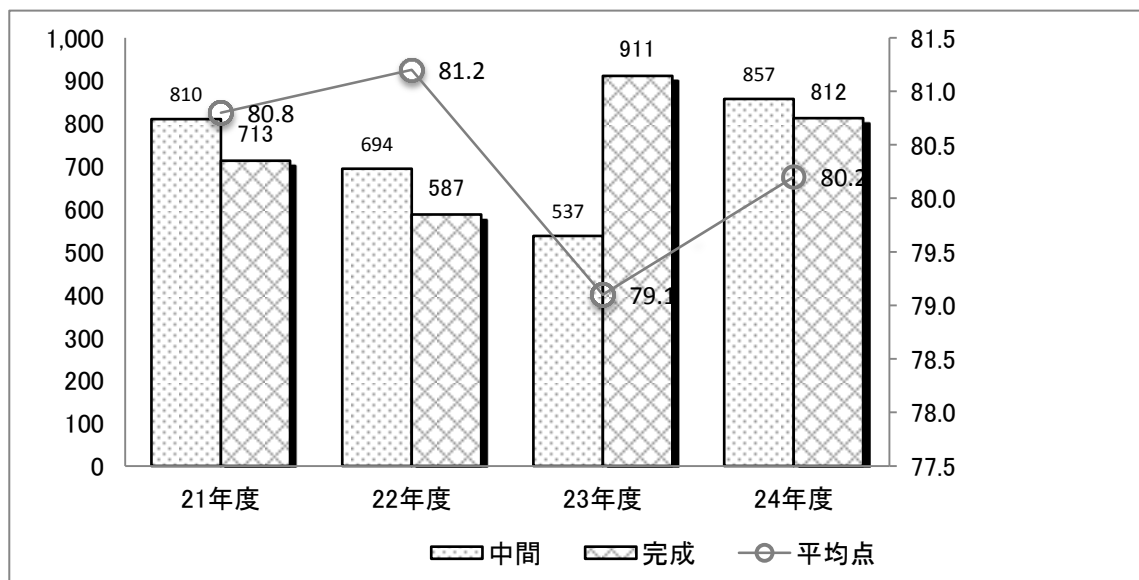


総検査件数 812件

完成検査総額 937億円

◇農林水産部と土木部で件数の約92%を、金額で約94%を占めています。

③ 検査件数／平均点／推移



◇完成検査件数は対前年度比89%、中間検査件数は約160%となっています。
 ◇工事成績の平均点（考査を行った808件を対象）は、対前年度比1.1ポイント高くなりました。

3 中間検査の実施と工事成績／専門検査員

① 検査件数／平均点／中間検査実施率

◇完成検査は考査を行った工事を対象とする

	件数	合計点	平均点	中間検査実施率	備考	
H23	検査全体	1,445				
	■ 中間検査	537		59.1%	※1	
	■ 完成検査	908	71,812	79.1	56.7%	※2
	中間検査無	393	30,572	77.8		43.3%
	中間検査有	515	41,240	80.1		56.7%
	□ 低入札工事	290	23,561	81.2	90.3%	※2
	中間検査無	28	2,219	79.3		9.7%
	中間検査有	262	21,342	81.5		90.3%
	□ 非低入札工事	618	48,251	78.1	40.9%	※2
	中間検査無	365	28,353	77.7		59.1%
中間検査有	253	19,898	78.6		40.9%	
H24	検査全体	1,665				
	■ 中間検査	857		106.1%	※1	
	■ 完成検査	808	64,824	80.2	73.9%	※2
	中間検査無	211	16,741	79.3		26.1%
	中間検査有	597	48,083	80.5		73.9%
	□ 低入札工事	129	10,412	80.7	73.6%	※2
	中間検査無	34	2,692	79.2		26.4%
	中間検査有	95	7,720	81.3		73.6%
	□ 非低入札工事	679	54,412	80.1	73.9%	※2
	中間検査無	177	14,049	79.4		26.1%
中間検査有	502	40,363	80.4		73.9%	
前年比	検査全体	115.2%				
	■ 中間検査	159.6%		46.9pt		
	■ 完成検査	89.0%		1.1	17.2pt	
	中間検査無	53.7%		1.5		
	中間検査有	115.9%		0.4		
	□ 低入札工事	44.5%		-0.5	-16.7pt	
	中間検査無	121.4%		-0.1		
	中間検査有	36.3%		-0.2		
□ 非低入札工事	109.9%		2.0	33.0pt		
中間検査無	48.5%		1.7			
中間検査有	198.4%		1.8			

※1 見掛中間検査実施率：完成検査件数と中間検査件数の単純比率

※2 実質中間検査実施率：完成検査件数と中間検査を一回以上受検した完成検査件数の比率

※ 備考欄の「%」は中間検査”無”と中間検査”有”の割合を示す

◇平成24年度の専門検査員による全検査件数は1,665件（考査無しの4件を除く）で、対前年度比で約115%、220件の増となっています。

◇中間検査は857件で対前年度比約160%、完成検査は808件で対前年度比約89%でした。

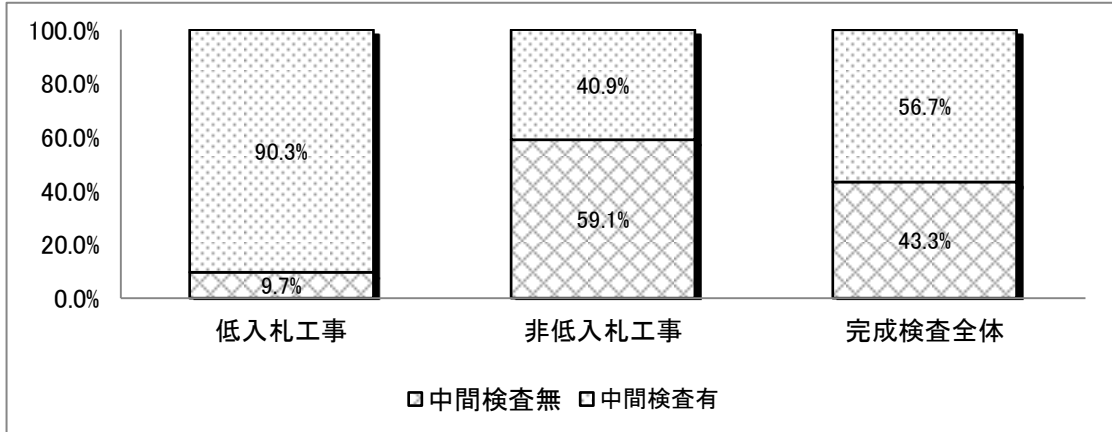
◇完成検査のうち、中間検査を一回以上受検した工事の割合は約74%、低入札工事でも約74%となっています。

◇工事成績の平均点は、完成検査全体で80.2点（考査有の808件で除いた数値）、低入札工事80.7点、非低入札工事で80.1点となっており、前年度に比べ非低入札工事で高く、全体でもわずかながら高くなっています。

◇低入札工事と非低入札工事の平均点を比較すると、低入札工事の方がわずかに高く前年度と同様の傾向にあります。

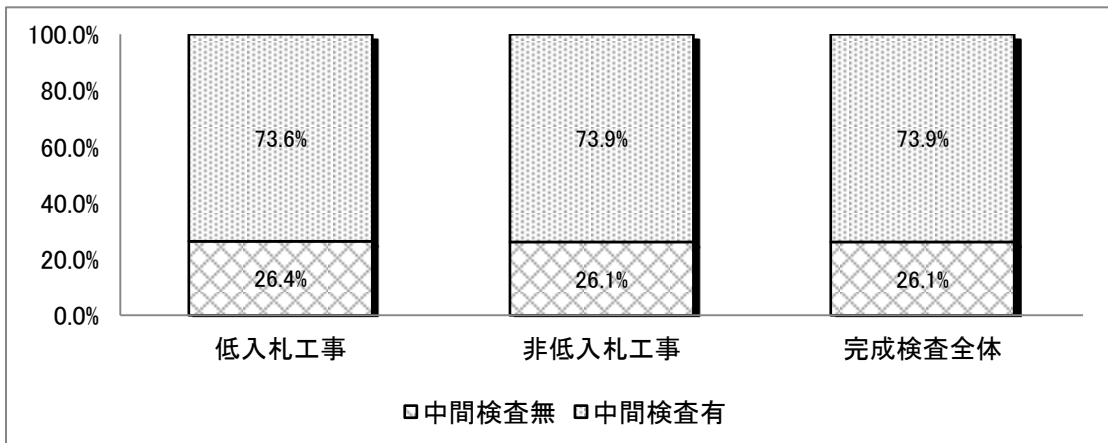
〔中間検査実施率の比較〕

H23年度



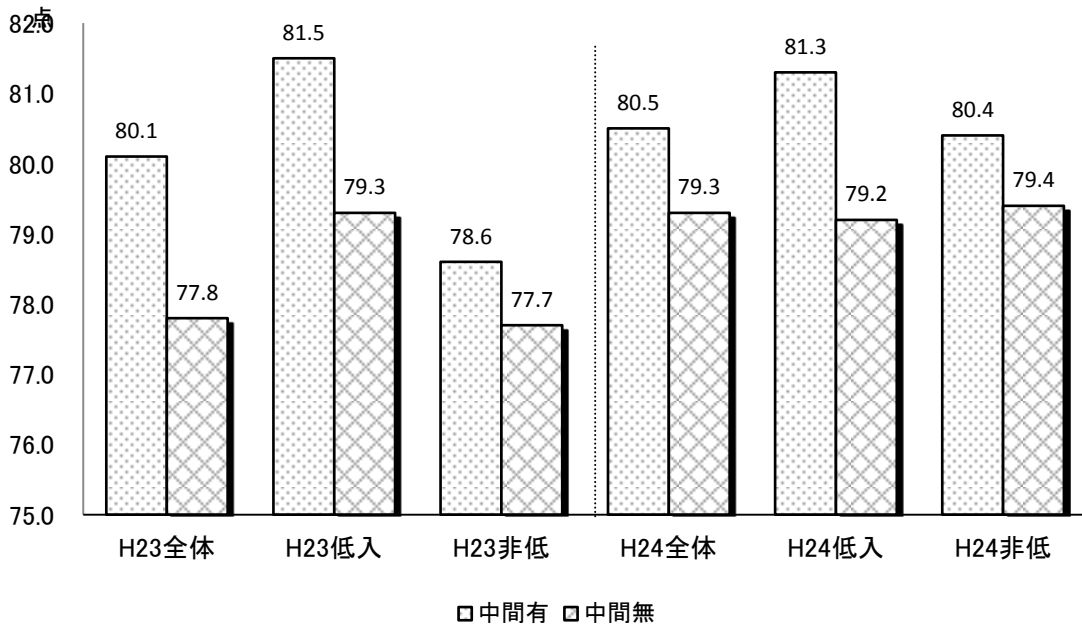
◇平成23年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は約57%、うち低入札工事では約90%となりました。

H24



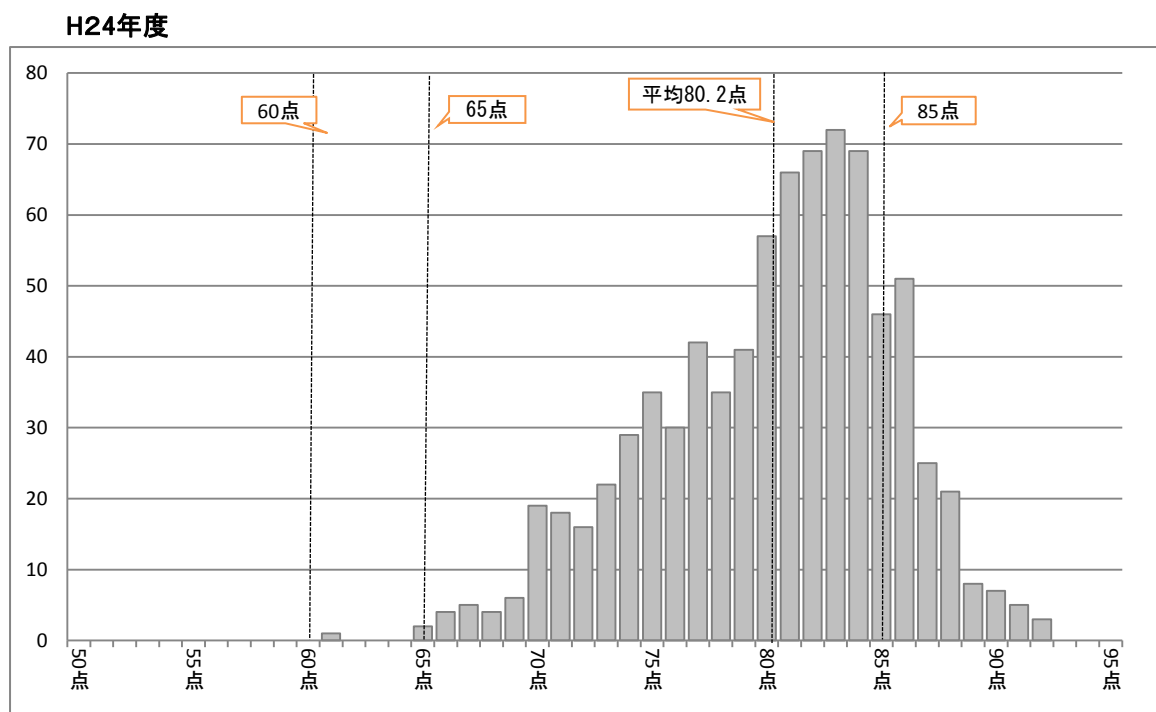
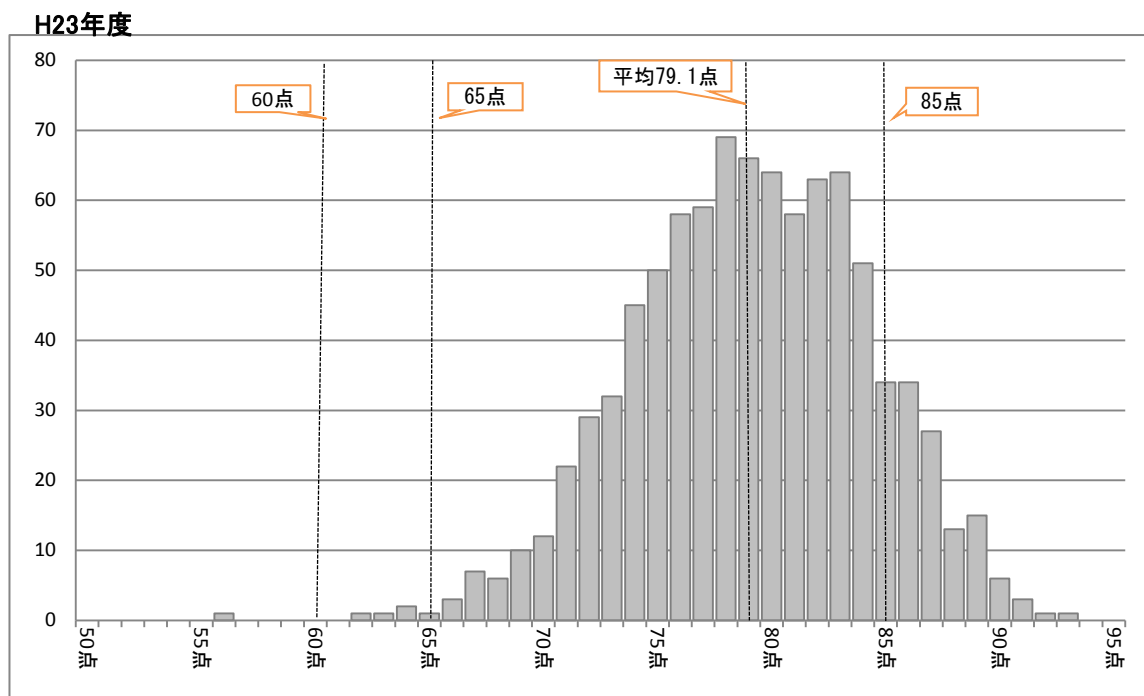
◇平成24年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は約74%、低入札工事でも約74%でした。

〔工事成績比較（平均点）〕



② 工事成績分布

【工事成績の分布】



◇平成24年度における完成検査総数808件（考査のない4件を除く）の工事成績平均点は80.2点であり、前年度の79.1点より1.1ポイント高くなりました。

4 平成24年度検査結果と今後の目標

平成24年度の検査結果について、完成検査件数は前年度と比較し89%と少なくなっていますがこれは年度末（3月）に完成検査が集中したことから特命検査による検査を行ったことによるものです（依頼検査により完成検査47件を実施）。

中間検査については、震災関連工事が増加するなかにあつて年度目標を掲げ対応してきた中間検査の促進により前年度と比較し約60%増加しました。

完成検査における平均点が前年度に比べ1.1ポイント上回るとともに完成検査の中間検査実施率は17.2ポイント上回りました。

震災関連の復旧・復興の進捗に伴い検査件数の増加が想定されることから、これまで以上に建設工事の品質確保を図る施策を推し進めるとともに、安全で高品質な公共施設提供のための適正な検査を実施していきます。

品質確保のためには工事施工段階での確認や指導が有効な手段であることから中間検査の実施率を高めるよう取り組むとともに、効率的な完成検査を実施し、客観性、公平性を確保し工事成績の評定に努めていきます。